冒頭、議長を中谷奈津子会員に依頼することが全会一致で承認された。
出席者数 31 名（対面参加 27 名、オンライン参加 4 名）

2024 年度　家族関係学部会　総会

(議事録概要版)

日　時：2024 年 10 月 26 日(土) 16 時 30 分～17 時 30 分

場所：東京家政学院大学千代田三番町キャンパス
（ハイブリット開催）

2024 年度　家族関係学部会総会次第

１．開会

２．部会長挨拶

３．議長選出

４．議事

＜報告事項＞

1. 2023 度事業報告および 2023 年度収支決算報告の役員会協議の結果（李）
2. 会費納入状況（森田）
3. 入退会の動向と会員区分（山下）
4. ニューズレター発行、HP 更新、メルマガ配信の状況について（大石）
5. 部会誌の編集について（表）
6. 部会誌バックナンバー販売と保管の状況について（山下）
7. 2024 年度（第 44 回）家族関係学セミナーについて（井上）
8. 海外学術交流について（安藤・李）
9. 役員選挙結果の報告（山下）
10. その他

＜協議事項＞

1. 名誉会員の推薦（李）
2. 入退会者の承認（山下）
3. 2024-2026年度役員、会長の承認（李）
4. 2024-2026年度監事の承認（李）
5. 2025年度事業計画（案）について（李）【資料１】
6. 2025年度収支予算書（案）について（森田）【資料２】
7. 投稿規程の改正（案）について（表）【資料３】
8. 2025年度（第45回）家族関係学セミナーについて（李）
9. その他

５．新部会長挨拶

【報告事項】

1．2023年度事業報告および2023年度収支決算報告の役員会協議の結果（李）

2024年5月14日（火）に開催した役員会（オンライン開催）において、2023年度事業報告、2023年度収支決算について協議し、承認した。

→以上の報告があった。

2．会費納入状況（森田）

（1）2024 年 4 月 1 日～2024 年 9 月 30 日現在 会費納入必要会員数 166 名(名誉会員 5 名）

（2）会費未納者

3 年分の未納者 3 名・・・今年度未納の場合に除籍対象者（遠藤マツエ，曺明雅，竹田久美子）

2.5 年分の未納者 1 名　　2 年分の未納者 9 名

1 年分の未納者名 48 名(正会員 44 名、学生 4 名)

2023 年度未納者 42 名　（2023 年度会費の納付率 74.7%　昨年比 0.7%増）9/30 入金時点

2024 年度未納者 61 名　（2024 年度会費の納付率 63.3%　昨年比 13.4%減）9/30 入金時点

→以上の報告があった。

3．入退会の動向と会員区分（山下）

(1) 入会希望者　6 名

(2) 退会者　7 名

①退会届提出者：4 名

②除籍対象者：3 名

(3) 会員数

2024年9月30日現在　１７０名（暫定会員含む）

※入退会承認後（2024年10月26日現在）１６８名（昨年度比　1 名減）

→会費納入必要会員数　１６３名（名誉会員　5 名）

(4) 会員区分

【会員区分内訳】（2024 年 10 月 26 日入退会承認後 168 名）

一般会員	１４８名
学生会員	１５名
名誉会員	5 名

（参考　家政学会：会員　８９名、非会員　６８名、不明　１１名）

→以上の報告があった。

4．ニューズレター発行、HP 更新、メルマガ配信の状況について（大石）

(1) ニューズレターの発行　2 回（メール配信）

2024 年　2/21（167 通）　7/29（167 通）

(2) HP 更新、メルマガ配信の状況

・ホームページの更新　　6 回

2023 年　11/22、12/5

2024 年　2/27、7/22、9/13、9/17

・メールマガジンの発行 4 回（第 27～30 号）

2024　6/6（165 通）、6/27（165 通）、7/26（167 通）、9/17（167 通）

→以上の報告があった。

5．部会誌の編集について（表）

(1) 第43号編集現況について、12月9日印刷完了・12月10日発行・12月21日発送（予定）

構成

特集　「家族と地域コミュニティの融和的未来」

論文　3本掲載予定（投稿6本）

政策動向　「日本における共同親権導入の意義と課題」
書評　　2件
文献紹介　3件

(2) 部会誌印刷・発送費について(10月1日見積)
印刷費：No.43見積110頁想定　@210冊　　296,100円（税込）
非会員贈呈用抜き刷り30部 3名分　　16,020円（税込）
発送費：発送業務委託　　31,214円（税込）

(3) J-Stageについて
現状では、27号～42号までを公開中
J-Stage参照　https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jjfr/_pubinfo/-char/ja

→→表編集委員長が欠席のため、蟹江編集委員より、以上の報告があった。

6. 部会誌バックナンバー販売と保管の状況について（山下）

・部会誌販売の状況（2023.10.3～2024.10.7）

・部会誌の保管状況　合計 355 冊（10 月 7 日現在）

30 号	9
31 号	8
32 号	9
33 号	6
34 号	10
35 号	10
36 号	5
37 号	31
38 号	21
39 号	53
40 号	43
41 号	50
42 号	17

→以上の報告があった。

7. 2024年度（第44回）家族関係学セミナーについて（井上）

(1) 2024年10月26日（土）～27日（日）開催校：東京家政学院大学（対面及びオンライン開催）
(2) シンポジウム「人生をどう締めくくるのか―終活ブームの背景にある家族と社会の変化―」
司会　藤崎　宏子（元お茶の水女子大学）・安藤究（名古屋市立大学）
報告1：「死後福祉」をつくる―無縁社会における支援システム―
東洋大学現代社会総合研究所客員研究員　井上　治代　氏
報告2：変容する家族と葬儀―私たちは葬儀に何を求めるのか―
尚絅学院大学教授　渡邉　千恵子　氏
報告3：財産の家族的継承と社会的継承―自己決定としての遺贈寄付―
立教大学社会デザイン研究所研究員　星野　哲　氏
討論：名古屋市立大学教授　安藤　究　氏
(3) 活動助成
2024年度日本家政学会活動助成金　50,969円
使途：「公開シンポジウム」の講師謝金（家政学会非会員2名・会員1名）
(4) 自由報告　2 分科会　合計 9 報告

→実行委員長井上清美会員より、以上の報告があった。

8．海外学術交流について（安藤・李）

・日韓学術交流について（日本から韓国へ派遣）

【韓国　家族関係学会 シンポジウム】

日時：2024 年 11 月 2 日(土) 13：00～17：30

場所：中央大学校（ジュンアン　デハッキョ）

テーマ：家族の生活に染み入る AI（가족의 삶에 스며든 AI)（ AI Smeared into Family Life）

■基調講演

講演 1：AI とは何か、また、何ができるか?

発表者：李スファ（翰林大学校　AI 融合研究院）

講演 2：人間と AI の共存のための倫理的争点

発表者：ジョンドボン（韓国科学技術情報研究院）

講演 3：国際比較調査からみた日本の家族とケア―ジェンダーと情緒規範からのアプローチ―

発表者：宮坂靖子（金城学院大学）

■分科発表

1．高齢者ケアにおいてのAIの活用

2．家族相談/教育においてメタバースの活用

3．児童とAI

→以上の報告があった。

9．役員選挙結果の報告（山下）

・次期の役員改選選挙の投票が2024年6月13日～7月4日に行われ、以下の新役員が選出された。

・投票総数　37名×５X１地区＝185票X２地区＝370票

・選出者　第1区　井上清美　大石美佳　佐藤裕紀子　中川まり　永田晴子

第2区　青木加奈子　奥田都子　中谷奈津子　冬木春子　森田美佐　（敬称略）

・部会長選挙の投票が2024年7月16日～8月13日に行われ、奥田都子会員が選出された。

選挙管理委員（菊地真理、中谷奈津子、山下美紀）

→以上の報告があった。

10．その他

【協議事項】

1．名誉会員の推薦（李）

川崎末美先生　　長津美代子先生

一般社団法人日本家政学会家族関係学部会規約　第 3 条 4

「名誉会員は、本会に功労のあった年齢 75 歳以上の正会員で、役員の推薦により、委員会の議を経て、総会で承認された者とする。年会費は徴収しない。」

→名誉会員について承認された。

2．入退会者の承認（山下）

→報告事項 3 の入退会者（審議対象者）について承認された。

3．2024-2026年度役員、会長の承認（李）

→次期役員、会長について承認された。

4．2024-2026年度監事の承認（李）

→監事について、第1区；久保桂子会員、第２区；松岡悦子会員が承認された。

5．2025年度事業計画（案）について（李）【資料１】

→資料１のとおり承認された。

6. 2025年度収支予算書（案）について（森田）【資料２】
→資料２のとおり承認された。
※総会資料に誤りがあったため、臨時総会（メール審議）を開催し、異議なく承認された。

7. 投稿規程の改正（表）【資料３】
→表編集委員長が欠席のため、蟹江編集委員より説明された。
→提出原稿の形式について、書式のずれの懸念からPDF形式は残したほうがよい、どちらかでよいのであればWord形式をやめてPDFを提出する方がよいという意見がだされた。
→審議の結果、「投稿申込表紙」を「投稿申込用紙」とすることについては承認、提出原稿の形式については非承認とし再度編集委員会で話し合うこととなった。

8. 2025 年度（第 45 回）家族関係学セミナーについて（李）
→静岡大学の冬木春子会員を実行委員長、静岡県立大学を会場として、2025 年 10 月 11 日・12 日に開催されることが承認された。

9. その他

【資料１】

2025 年度事業計画（案）

１．研究発表会、公開講演会等の開催
(1) 公開シンポジウム
日程：未定
会場：
テーマ：未定　　シンポジスト：未定
(2) 研究発表会
日程：未定
会場：

２．部会誌の刊行
「家族関係学」No.44　2024 年 12 月 1 日刊行予定

３．部会誌の J-STAGE 公開
「家族関係学」No.44　バックナンバーの J-Stage 登載

４．研究及び調査の実施
実施せず

５．研究の奨励及び研究業績の表彰
実施せず

６．海外学術交流の実施
実施せず

７．その他、目的を達成するために必要な事業
(1) ニューズレターの発行　2 回
(2) ホームページの管理・更新、メルマガの配信

８．部会総会等の開催
(1) 2025 年度通常総会
2025 年度家族関係学セミナーのなかで開催する
(2) 部会役員会、各種役員会等
・役員会の開催（年２回）
・第 45 回家族関係学セミナー実行委員会（４回）
・部会誌編集委員会 10 回（メール会議）
・その他

９．その他

【資料２】

一般社団法人日本家政学会家族関係学部会 2025 年度予算書（案）

<③家族関係学部会>2025年度予算書

(2025年4月1日から2026年3月31日まで)

科　目	注意	2025年度	2024年度	差異	備考
一般正味財産増減の部					
1.経常増減の部					
(1) 経常収益					
①基本財産運用益	(本部のみ)				
特定資産運用益	大会基金となっている定期預金の利息				
入会金					
年会費		770,000	770,000	0	一般会員5000円×150人＋学生会員2000円×10人
会誌購読料		32,340	32,340	0	定期購読14団体×2,310
大会等参加費		285,000	285,000	0	大会参加3000円×50名、懇親会費4500×30名
広告料					
刊行物売上		2,000	2,000	0	
著者負担金					2020年度著者負担金廃止による
補助金	(名称と交付者を備考欄に記載願います。)				
一般寄付金	活動全般に使ってよい寄付金				
特別寄付金	使途を限定した寄付金				
雑収入	普通預金利息	100	100	0	
②本部からの支部費	(支部のみ,選挙の為の通信費も含む)				
本部からの支部活動活性化サポート費	(支部のみ)				
本部からの活動助成費	活動助成金全額(税金も含む)	80,000	70,000	10,000	2023年度実績ベース（約8万）
経常収益計		1,169,440	1,159,440	10,000	
(2) 経常費用					
①事業費		1,118,000	1,259,000	▲ 141,000	
大会会場使用料		40,000	40,000	0	会場費
大会講師謝金	講師への支払い総額(旅費交通費含む)				
大会旅費交通費	実行委員会メンバーなど講師以外への支払い	0	90,000	▲ 90,000	
大会消耗品	文具等だけではなく弁当代、懇親会費等も含む	170,000	170,000	0	懇親会，弁当代，お菓子，文具，会合費等
大会印刷費					
大会研究発表要旨集作成費		75,000	75,000	0	紙ベースの配布前提
大会通信運搬費		30,000	30,000	0	例年通り
大会臨時雇賃金					
総会費					
セミナー・講演会等会場使用料					
セミナー・講演会等講師謝金	講師への支払い総額(旅費交通費含む)	120,000	120,000	0	外部講師2名として、講演7万円+交通費3万円+宿泊費2万円
セミナー・講演会等旅費交通費	実行委員会メンバーなど講師以外への支払い	60,000	60,000	0	実行委員会の会合
セミナー・講演会等消耗品	文具等だけではなく弁当代、懇親会費等も含む				
セミナー・講演会等印刷費					
セミナー・講演会等研究発表要旨集作成費					
セミナー・講演会等通信運搬費					
セミナー・講演会等臨時雇賃金		48,000	48,000	0	学生アルバイト等
学会誌等関連印刷費		320,000	300,000	20,000	2023年度実績ベース（約31.8万）
学会誌等関連通信費		30,000	40,000	▲ 10,000	2023年度実績ベース（約3万）
学会誌等関連原稿料・校閲料等		10,000	10,000	0	2023年度実績ベース（約1.1万）
学会誌等関連電子ジャーナル化費用		120,000	180,000	▲ 60,000	J-stage登載費用：デジタル化・アップロード（2023年度実績ベース（約10万）
研究補助費					
表彰費	奨励賞等				
関連学会等会費					
会議費	会議用のお菓子、お茶等				オンライン開催前提
広報費	ホームページ等	50,000	50,000	0	HP管理更新費・作業費、メルマガ、ニューズレター配信費、2023年度実績ベース（約5万）
旅費交通費	大会、セミナー・講演会関連以外の事業に関する旅費交通費	10,000	10,000	0	
事務委託費		30,000	30,000	0	2023年度実績ベース（約3万）
支払負担金	振込手数料	5,000	6,000	▲ 1,000	2023年度実績ベース（約0.5万）
雑費	大会、セミナー・講演会関連以外の事業に関する雑費				表彰なし
②管理費		75,000	115,000	▲ 40,000	
給料手当		20,000	20,000	0	年会費発送補助
福利厚生費					
旅費交通費	(本部のみ)				
通信運搬費	大会、セミナー・講演会関連以外の通信運搬費	30,000	70,000	▲ 40,000	2023年度実績ベース（約2.1万）
備品費					
消耗品費	大会、セミナー・講演会関連以外の消耗品	10,000	15,000	▲ 5,000	2023年度実績ベース（約0.3万）
光熱水料費					
雑費	(本部のみ)				
租税公課	(法人税、消費税等本部のみ計上)				
地代	(本部のみ)				
印刷費	大会、セミナー・講演会関連以外の印刷費	15,000	10,000	5,000	2023年度実績ベース（約1.3万）
修繕費					
減価償却費	(本部のみ)				
リース料					
事務所管理費					
退職給与引当金繰入額	(本部のみ)				
③支部費					
支部活動活性化サポート費	(本部の支出を計上する欄)				
活動助成費					
経常費用計		1,193,000	1,374,000	▲ 181,000	
当期経常増減額		▲ 23,560	▲ 214,560	191,000	
2．経常外増減の部					
(1) 経常外収益	(例えば不動産を売る等、通常の活動外での収入、支出なのでほぼ該当なし)				
(2) 経常外費用					
当期経常外増減額					
当期一般正味財産増減額		▲ 23,560	▲ 214,560	191,000	
一般正味財産期首残高	(2024年度末の定期預金、普通預金、現金等の全ての金額)	3,716,435	3,716,435	0	
一般正味財産期末残高	(2025年度末の定期預金、普通預金、現金等の全ての金額)	3,692,875	3,501,875	191,000	

【資料３】

投稿規程の改正（案）

9. 原稿には、本部会ホームページからダウンロードした「投稿申込~~表紙~~用紙」を添えて、MSWord 形式~~および PDF 形式~~のファイル~~両方~~を編集委員会（edit@kazokukankeigaku.jp）宛にメール添付で送付する。
10. 原稿締め切りは、原則として毎年３月末日とする。

（付則）本規定は、2011 年 10 月 22 日に改正し、2011 年 10 月 23 日より施行する。
本規定は、2018 年 10 月 13 日に改正し、2018 年 10 月 14 日より施行する。
本規程は、2020 年 10 月 10 日に改正し、2020 年 10 月 11 日より施行する。
本規程は、2024 年 10 月 26 日に改正し、2024 年 10 月 27 日より施行する。